



海の中道大橋から撮影

立花山

福岡市東区と糟屋郡新宮、久山両町の境に位置し、標高367mとあまり高くはありませんが、立花丘陵部の主峰で、博多湾を眼下にのぞむそのすっきりとした容姿は、秀峰の名に恥じない山です。

南方尾根沿いに三日月山、北方尾根沿いに松尾岳から白岳へ、また海上からはこの二つの山だけがみえるので古くは二神山と呼ばれていました。

立花城は1334年(建武元年)、戦国時代に友貞が築き「筑前の要塞」といわれました。250年後、ここで島津勢との攻防で奮戦した立花宗茂の武名を高らしましたが、小早川隆景、黒田長政が筑前に入るとともに廃城となり、今では当時の石垣が数ヶ所残っているだけとなっています。

地質は古成層よりなり、クス・タブの見事な自然林に覆われムクドリなど野鳥もたくさんみられます。

三日月山

標高272m。頂上には樹木がなく、ほぼ360度の見晴らしはとても素晴らしく、天智天皇の時代の防人の陣屋跡といわれ、立花時代には、平陣屋があったことにより、別名「陣山」とも呼ばれています。

立花山より三日月山へのハイキングコースは手頃で、元旦は、初日の出の参拝登山客で賑わいます。

また伝説によると、旧暦の12月22・23日頃に、頂上から見る月が3つに見えるときがあるというので、三日月山の名がついたと言われています。

なお、旧暦の12月22・23日頃は月の形は三日月ではありません。半月です。



親しみやすい立花山・三日月山

素晴らしい山頂からの眺望と、道のりがゆるやかで登りやすい両山は、小さなお子様から高齢の方にも広く愛されています。

また、福岡市中心部からも近いため、1日もあれば余裕をもって両山を巡ることができるのも大きな魅力です。

《立花山山頂》

アイランドシティや香椎、海の中道から志賀島への風景などを眺めることができます。標高367mからの眺望は絶景です。



《三日月山山頂》

標高272m360度の眺望は素晴らしい一言。福岡市、新宮町、久山町方面を見渡せます。また、明け方や夕方の景色もおおすすめです。



登山の心構え

- 立花山・三日月山の登山道には歩きづらい箇所がありますのでご注意ください。
- 天候や体力、時刻なども考慮し、登山を計画するようにしましょう。
- 少しでも体に異変を感じたときは登山を控えるようにしましょう。
- 歩行のペースには個人差があります。無理をせずマイペースで登りましょう。
- 自然に親しみ、自然を大切にしましょう。
- 珍しいからといって動植物を持ち帰るなど自然の生態系を壊す行為は慎みましょう。
- 危険生物(スズメバチ・ヘビ・マダニなど)に注意し、むやみに藪(やぶ)に入らないようにしましょう。
- ゴミは捨てずに持ち帰るとともに、食べ残しを山に捨てることは野生動物(イノシシ、シカ、サルなど)への餌付け行為となり、人的被害につながるおそれがあるため、絶対にしないようにしましょう。
- 火の取扱いには十分に注意しましょう。

- B** バス停留所
- WC** トイレ
- P** 駐車場
- 自動販売機

※図中、◀00分▶の表示は、徒歩でのおおよその所要時間です。
※登り・下りの時間表示には個人差があります。



※一般的な登山ルートのみ記載しています



分岐点
左折：鷲尾大権現
直進：大権現登山道



立花山登山道案内



立花山登山道案内



分岐点
・三日月霊園方面
・至三日月山800m
・至下原700m



三日月山・立花山登山道案内



分岐点
至立花山山頂 240m
至三日月山 640m
至下原 1600m



分岐点
右折：三日月山頂
左折：立花山、
松尾岳方面



分岐点(登り)
左折：三日月霊園
左前：霊園ルート
右前：山頂へ(急坂)
右折：三日月湖



三日月山登山道案内